

## 62 貝吹町のマメガキ（シナノガキ）



マメガキ（カキノキ科）

樹高 6m

幹周 1.2m

所在地 貝吹町東郷廻21-1

所有者 名倉良蔵

マメガキは柿渋採取のために栽培され、和紙や魚網の強度を高めるため等に利用されていた。また、種子をまいてカキ（富有・次郎など）の台木にしたものである。

庭園内に植わっているためか、自然の樹形ではないが、現在では珍しい。原種に近いせいか開花期や成熟期はその年の気候条件によって異なるが、例年5月には雌雄の異なった花を着け、10月頃には1.5cm前後の実を多く着ける。